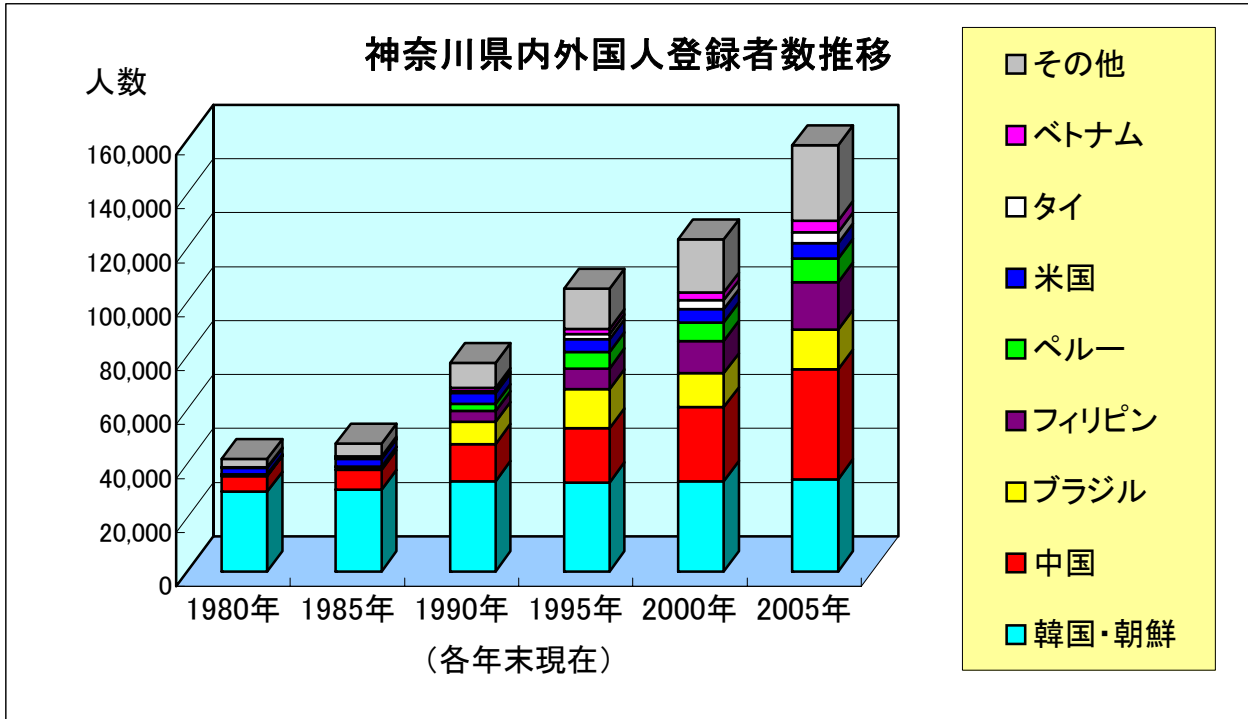


整理番号	2-2-3	相談レベル	-
分類	マニュアル利用方法		
項目	相談のための基礎知識		
内容	県内在住外国籍県民の状況		

私たちの神奈川県は、約16万人の外国籍住民が暮らしており、県民の約56人に1人が外国籍であるというように、その増加と定住化が進んでいます。1980年から2005年までの25年間で人数で3.8倍、国籍数で1.7倍に増加しています。



	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年
その他	3,070	4,722	9,333	15,040	19,853	28,021
ベトナム	234	620	1,267	1,967	2,869	4,168
タイ	103	218	556	1,882	3,245	4,144
米国	2,375	2,943	4,035	4,629	4,845	5,583
ペルー	17	72	2,728	6,110	6,920	8,842
フィリピン	368	968	4,040	7,648	12,040	17,643
ブラジル	109	169	8,143	14,471	12,565	14,630
中国	5,777	7,230	13,806	20,175	27,389	40,711
韓国・朝鮮	29,611	30,337	33,443	32,960	33,453	34,205
合計	41,664	47,279	77,351	104,882	123,179	157,947
国籍数	97	100	119	153	154	166

1980年代のインドシナ難民の受入、1991年のいわゆる入管法改正による日系人の定住者としての受入などを契機に、ブラジル、ペルー、ベトナムなどの国籍の方が増加し、また、中国との経済交流の拡大によって最近では中国籍の方の比率が最も高くなっています。

また、県内で外国籍住民の数の多い上位5市町村は、横浜市69,563人、川崎市27,619人、相模原市9,578人、大和市6,530人、藤沢市5,979人の順で、人口に占める割合の高い上位5市町村は、愛川町6.15%、綾瀬市3.69%、大和市2.95%、厚木市2.34%、座間市2.17%の順となっています。